

取り組みを積み上げて、成長する！

校長 松澤 朗

3学年とも宿泊研修が終わりました。現在、各学年そのまとめや振り返りに取り組んでいます。何事ですが、やったことを生かして積み上げていかないと、いつも0(ゼロ)からもう一度つくらなければならなくなります。学級もそうです。4月よりも5月、5月よりも6月と3月までいろいろな出来事を大切に、乗り越えていってこそ、3月の卒業式や学級解散式が未来につながるものになります。ぜひぜひ、小泉中学校全体が取り組みを生かして、成長してほしいと願っています。昨日よりも今日、今日よりも明日が素敵な日になるようにしていきましょう。

7月もいろいろな行事があります。中体連市内大会、東濃大会、そして県大会、他には三者懇談会や3年生の総合的な学習の発表会(7/14)もあります。お忙しい中ですが、よろしくお願いします。



多治見市 わたしの主張 2017 が開催されました。

本校からは、小泉小学校区代表で、渡邊 望さん、池田小学校区代表で高橋佑果さんが出場しました。ともに、素晴らしい発表でした。尚、13校区の代表の中から、高橋さんが優秀賞を獲得しました。おめでとうございます。題名は以下に記載します。

渡邊 望 「心で伝える 心で届ける」

高橋佑果 「幸せと感ぜない『幸せ』」



また、ボランティアとして、3年生伊藤ありきさんと下廣かえでさんが活躍しました。ありがとうございました。

6月 市P連定期大会の講演会「未来を生き抜くチカラを育てるために」(1)

教育推進課

未来を生き抜くチカラを育てるために「自分で決める」ということが、とても大切です。「自分で決める」ということに関係の深い言葉としては、「自律」という言葉があります。辞書で調べますと、

自律：自分の行為を主体的に規制すること。外部からの支配や制御から脱して、自身の立てた規範に従って行動すること。

他律：自分の意志によるものでなく、他からの命令や束縛によって行動すること。

両方に入っている言葉があります。それは、「行動」という言葉です。すなわち、行動しない限りは、身につかないのが自律だということです。トレーニングが必要だということです。何もしていないのに、突然20歳になったから、自律というのではないわけです。

みなさんは、子どもたちの自律に向けてどんなことをやっていますか？ (つづく)